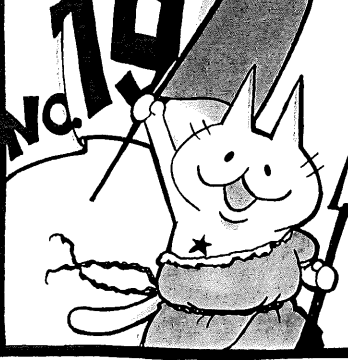


本屋でんすけ 2016. May.

ゆるら版



ゆるわり月刊

関係ないよって
関係ある
大事な事をわろそう。

Take Free

平和な世界をスろうとしている人達がいる。

ニュースよく見聞きする「安全保障」「紛争」「国際政治」「人道的介入」... どうせ自分とは関係ない話でしょ? とりあえず戦争は反対だ! とTVの前で「ポテチ食ってる人も多いしはなしてしょうか。(←キウウ...)」でも、実は関係ないよって「関係ある大事な話のそいな時、どんな本を送るにらいいのかなあ?

...というワケで、今回は立教大学大学院2世紀社会デザイン研究科・社会学部教授で「難民を助ける会(AAR)理事長の長有紀枝先生にご協力いただき、専門書としても通じる本、核となる入門書... たけと「大学生くらいが読める新書レベル」とワガママ言ってる、ガチで選んでもらいました。

いま、「平和」って何だ? う?

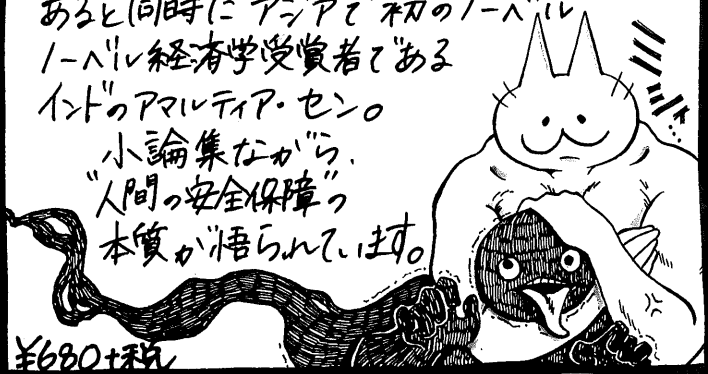


人間の安全保障

アマルティア・セン著 東郷えりか訳 集英社新書

「人間の生にしっかりとかがえのない中核部分を守り、すべての人の自由の可能性を実現すること」「人間の安全保障」という概念の生みの親であると同時にアジアで初のノーベル平和賞受賞者であるインドのアマルティア・センの小論集ながら、「人間の安全保障」の本質が悟らぬではない。

¥680+税



平和構築入門

— その思想と方法を問いたおす —
篠田英朗著 ちま新書 ¥840+税

紛争が絶えない社会で、「国際社会が」国家や平和を「構築」するとはどういうことなのかな?

その背後にある思想や方法、現状と課題を客観的かつ体系的に学ぶことわがて生じます。

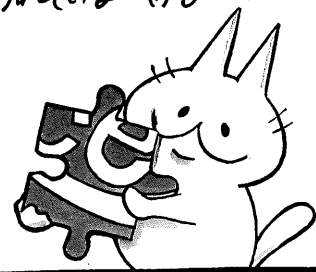
〇〇したら平和になるの?



平和構築

— アフガン・東ティモールの現場から —
東大著作 岩波新書 ¥780+税

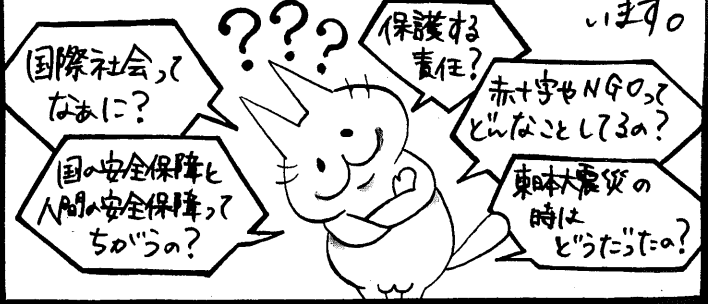
国際紛争の優れたトコメンタリーを制作してきた著者(元NHKディレクター)ならではの手法で「研究者として、また実務家として現場で見た平和構築の過程が」悟らぬ一冊。



人間の安全保障

— 恐怖と欠乏からの自由を求めて —
長有紀枝著 中公新書 ¥840+税

国際人道支援に携わってまた長先生の本の「人間の安全保障」の概念とともに、グローバル・イシュー(地球規模の課題)を網羅した入門書。東日本大震災と人間の安全保障についても書かれています。



国際政治とは何か

—地球社会における人間と秩序—

中西寛著 中公新書 ¥860+税

古典となっている国際政治学者
故高坂正堯教授の
「国際政治」ともあわせて
読みたい1冊。

「国際政治」って何だ？
国際政治の起源を
たどって、その複雑さを
読み解くテキストという
ハズ本で「難しい」と
大事な話

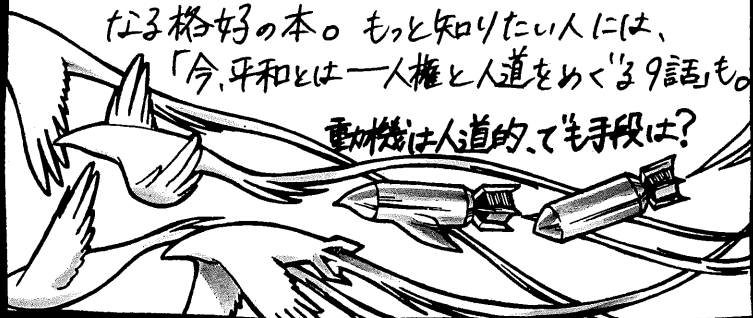


人道的介入

—正義の武力行使はあるか—

最上敏樹著 岩波新書 ¥780+税

現代の国際社会の混迷を理解するには、
冷戦崩壊後1990年以降の国内紛争・
民族紛争の実態と人道的介入の理解と
評釈が不可欠。そのための手引き・テキストと
なる格好の本。もっと知りたい人には、
「今、平和とは—人権と人道をめぐる9話も」
動機は人道的でも手段は？



平和主義とは何か

—政治哲学で考える戦争と平和—

松元雅和著 中公新書 ¥820+税

誰もが「関心」を抱く「平和」の問題を
「平和主義」の詳細な検討から取り上げた
包括的な入門書。政治哲学の立場から、
国際関係の指針とならざる
平和主義に迫ります。



国際秩序

—18世紀ヨーロッパから21世紀アジアへ—

細谷雄一著 中公新書 ¥880+税

バランス コンサート コミュニティ
「均衡」「協調」「共同体」という近代ヨーロッパ
が生んだ「国際秩序」の基本原理をもとに、現在
まで300年にわたる国際政治の移り変わり、
戦争と平和を描いている1冊。
「日本はこれからどうすればいいのかわかるか？」が
見えてくるかも……。

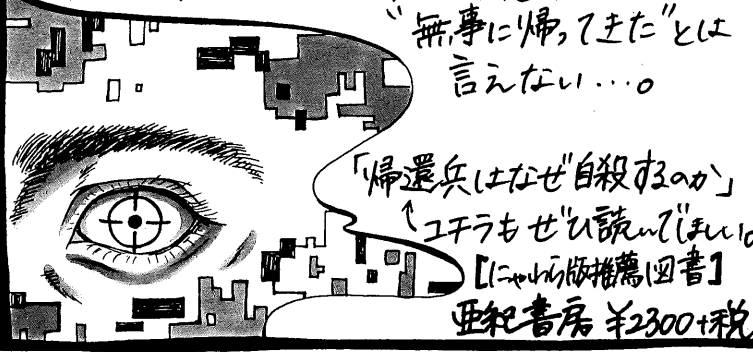


兵士は戦場で何を見たのか

ティム・フィッシャー著 古屋美登里訳

イラク戦争で「前線」に送り込まれたアメリカ兵に
密着したノンフィクション作品の淡々とした文章が
逆に戦場の悲惨さを想像させる。

精神を病み、四肢を失くし、絶望した人を
「無事に帰ってきた」とは
言えない……。



ていつけのかいぬし

聞く機会はいっぱいあるけど、詳しく説明してないこと、
結構たくさんあると思います。政治とか国際的なことやら
とかその入ったのが特に。そのなかで、長(オヤ)先生に
お願いして今回の企画のちょっと難しいかな？
私にはめっちゃ難しかったんですけど(笑)
自分からお願いしたのに、いざ目の前に新書を積ん
でみると「おっ、賞悟はしてていい、キツイ(まだ)
見た目が……(笑)」と私のツリツリ脳ミソが「悲鳴を
あげました」でも、ハッハッハと「おっ」をめぐって
みると、わりと読める……わりと読めるぞ……。(ムソはりに)
そして、自分の知らない所で「平和」を本気で「つこうと
している人達の存在を知りました。彼らの活動は本当に
すごい。長先生、お忙しい中選書していただいて
ありがとうございます。」
(国連の会議の関係で「ジュネーブから
メーカ」来て、凡人はたまがました(笑))
にやわら版Twitter→@densuke_neko

